

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 内田誠一 副委員長 岩村雅一・安倍 満

幹事 柴田剛志・西山正志 幹事補佐 山口光太・松井勇佑

日時 10月8日(金) 13:30~18:00

9日(土) 9:00~18:00

会場 オンライン開催

議題 研究を効率的に進めるためのプロセスや周辺技術

8日午後 企画セッション (13:30~16:40)

1. 研究プロセスのPDCAサイクルを効率化することも研究テーマを進める上で重要なファクターの一つとして考えられます。そこでセッションでは様々な企業の方から事例や経験をベースに研究プロセスや実験の効率化について御発表頂きます。

登壇者一覧 (順不同)

- ・岩崎祐貴 (サイバーエージェント AI ラボ): Web系企業研究所における研究開発を加速させるエコシステム
 - ・浮田純平・池嶋大樹様 (エムスリー株式会社): 実臨床・Webサービス領域での機械学習研究開発の標準化
 - ・鈴木哲平 (株式会社デンソーアイティラボラトリー): 企業研究所における個人重視の組織体制
 - ・吉村皐亮・大垣翔様 (Sansan株式会社): 企業における基盤としてのグラフ分散表現の整備と運用
 - ・切通恵介 (NTTコミュニケーションズ株式会社): 事業会社における研究開発のライフサイクル
- パネルディスカッションでは、参加者の皆さまからも積極的に御意見を頂けると幸いです。

フェロー講演 (17:00~18:00)

2. 岡田隆三先生 フェロー講演

9日午前 一般発表1 (9:00~10:15)

1. Omni-Directional Image Representation in GAN-based Image Generator

○Keisuke Okubo・Takao Yamanaka (Sophia Univ.)

2. Cross-modal CycleGAN for Low-Resource Anime Style Face Translation

○Shiping Deng (Hosei Univ./USTC)・Kaoru Uchida (Hosei Univ.)

3. 埋め込み空間におけるデータ多様体構造に基づく敵対的サンプルの発生メカニズムに関する考察

○田崎 元・金子勇次・趙 晋輝 (中大)

個別ディスカッション

PRMU研究会の取り組みの1つで、研究会はアイデアを議論する場であるという考え方に立った、議論重視のセッションです。PRMUが導入したスタイルのセッションは、「発表者が連続して15分ずつの発表を行った後、残時間で個別に並列してディスカッションする」という、徹底的に議論をしようというものです。皆様の積極的な御参加をお願い致します。

一般発表2 (10:30~12:00)

4. 多種の名詞から学習を行った2値分類型のCNNによる筆跡認証 ○角 大智・久保田 彰 (中大)

5. Moving Scene Text Detection Using Synthetic Scene Text Video for Training

○Zhiyuan Xie・Hideaki Goto・Takuo Suganuma (Tohoku Univ.)

6. Road Damage Detection Using Global and Local Features

○Jinhong Yu・Yu Wang・Jien Kato (Ritsumeikan Univ.)

7. スワイプ動作に潜在する個人特徴の経路依存性

○酒井和希・黒岩丈介・小高知宏・白井治彦 (福井大)・諏訪いずみ (仁愛女子短期大)

個別ディスカッション

PRMU研究会の取り組みの1つで、研究会はアイデアを議論する場であるという考え方に立った、議論重視のセッションです。PRMUが導入したスタイルのセッションは、「発表者が連続して15分ずつの発表を行った後、残時間で個別に並列してディスカッションする」という、徹底的に議論をしようというものです。皆様の積極的な御参加をお願い致します。

9日午後 Japan CV (13:00~18:00)

8. JapanCV

<https://kantocv.connpass.com/event/221786/>

☆PRMU研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月16日(木), 17日(金) 立命館大学 [未定] テーマ:未定

【問合先】

PRMU研究会幹事

E-mail: prmu-organizer@mail.ieice.org